

雪 椿 日 次

校歌・応援歌・高田の四季	1
目 次	2
支部長挨拶	佐久間昇二 (高2回) … 4
学校長挨拶	新潟県立高田高等学校長 草間 俊之 (高25回) … 5
校友会本部総会に参加して	三村 到 (高30回) … 6
高田高校校友会東京支部総会<高田高校祭>に出席して	浅石 まみ (高37回) … 7
東京支部の活性化に向けて	佐久間昇二 (高2回) … 8
母校だより	校友会事務局 大久保 易 (高30回) … 10
特集Ⅰ わが恩師よ	12
はじめに	高橋 誠 (高26回) … 13
1 最も思い出に残る先生(その3)	
町田太郎先生の思い出	吉崎 道義 (高3回) … 14
加藤信治先生の偉業	小林 日忠 (高10回) … 16
籠島圭二先生の第1日目の授業のこと	小林 譲二 (高21回) … 21
まなごしに支えられて～町屋先生とわたし～	伊藤 充夫 (高22回) … 23
チュウケイ先生のこと	塚田 勝郎 (高23回) … 26
高高陸上競技部顧問 恩師薄波先生の思い出	大森 義弘 (高28回) … 27
村山陽先生の思い出	杉山 英明 (高30回) … 28
最も思い出に残る先生～山崎静雄先生とお会いして～	児島 香世 (高37回) … 29
2 教師からみた高田高校生気質	
パンツ位は自分ではけ	佐藤 春朗 (中52回) … 31
特集Ⅱ 座談会 バドミントン部	34
1 座談会	34
峯尾 裕子 (高13回) 横山 佳子 (高14回) 石塚 正英 (高20回)	
和田真一郎 (高34回) 内海理恵子 (高47回)	
司会 高橋 誠 (高26回)	
2 「高田高校バドミントン部創立50周年を祝う会」	谷 真知子 (高20回) … 51
校友から現役へのエール 未来展望セミナー	52
六華会だより	岡村 成行 (高6回) … 58
寄 稿	
物価の高騰とお金の値打ちの関係について考える	上金 忠夫 (中43回) … 60
断想：張作霖爆殺80周年を迎えて	儀我壮一郎 (中45回) … 62
望郷・雪都は初夏	金子 重男 (中51回) … 65
「この木なんの木」に寄せて	庄山 悦彦 (高6回) … 68
わがライフワーク イボ神様取材旅	平松 洋 (高8回) … 70
直江兼続と直江姓について	直江 智成 (高12回) … 73
校歌	宮原 友子 (高19回) … 76
鹿児島便り	祖父江ひろみ (高21回) … 78

オペラはどこで観るか……………塚田 繁 (高21回) ……	81
スウェーデンの夏至祭……………山下 哲生 (高25回) ……	84
オープンキャンパス裏話……………長谷川 晃 (高27回) ……	88
<hr/>	
俳句	
甘味・苦味・渋味……………松枝 勝一 (高6回) ……	91
深雪晴……………山崎美恵子 (高21回) ……	91
<hr/>	
ふるさと風声	
村山和夫氏(中56回)『高田藩』上梓……………小林世紀子 (高11回) ……	92
蟹江健一&渡辺義一郎『雨飾山と海谷山塊』上梓……………高橋 誠 (高26回) ……	93
高高同窓ゴルフコンペ、益々盛んに! ……上野 邦治 (高15回) ……	93
「ふるさと納税」のすすめ ……和久井 博 (高12回) ……	95
校友の近況	
下山敏郎前支部長(中50回) 日本写真協会賞特別賞受賞 ……小林世紀子 (高11回) ……	96
三浦雄一郎チョモランマ遠征隊に食糧隊長として参加……………藤嶋 弘徳 (高10回) ……	97
ジョンレノンと暮らす毎日……………水沢 順一 (高17回) ……	98
「茉莉花」久世 朋子氏(高27回)……………久島 士郎 (高28回) ……	98
野崎 弘氏(高2回)の叙勲について……………小林 外吉 (中57回) ……	99
拝啓、畏友清水邦夫様……………無名同級生 (高7回) ……	100
高田高校校舎改築記念事業募金活動について……………幹事長 柴田 武弘 (高11回) ……	101
平成20年夏 母校を訪問して(校舎スナップ写真) ……三村 到 (高30回) ……	102
出欠ハガキから ……	104
同期会の報告 ……	106
くびきだより ……	118
訃報 ……	122
<hr/>	
東京支部会務報告(平成19年10月～20年9月) ……	123
第44回高田高校校友会東京支部総会(高田高校祭)が開催されるまで ……	125
東京支部平成19年度会計報告及び平成20年度予算 ……	126
歴代支部長・幹事長、役員・評議員名簿 ……	127
第44回東京支部総会出席者名簿 ……	128
第44回東京支部総会スナップ写真集 ……	130
編集後記 ……	141
東京支部からのお知らせ ……	143

●題字「雪 椿」

下山 敏郎 前支部長

雪椿は新潟県の木(上越市の花はツバキ)であるとともに、校友会東京支部の運営及び会報刊行に多大な尽力をされた故椿毅陸氏(中56回)を偲んで命名されたものです。(編集部)

●表紙絵・本文カット

村山 陽 先生

新潟県巻町出身・昭和6年生まれ・新潟大学教育学部芸術科卒業

昭和36年～昭和57年までの21年間絵画教育を主に高田高等学校に奉職。一水会会員・日展会友